

骨芽細胞に特異的なエンハンサー

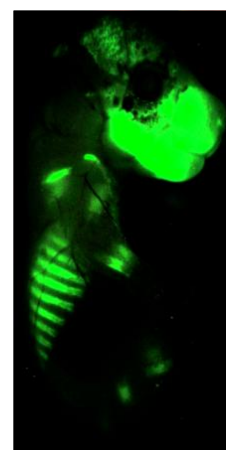
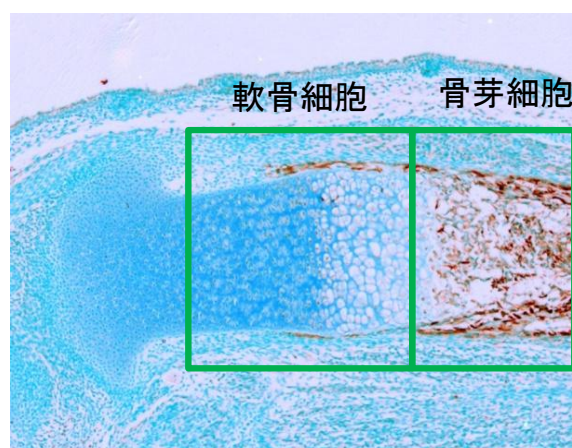
主たる提供特許	出願者	国立大学法人長崎大学
	題名	骨芽細胞特異的発現を誘導するDNA及びその塩基配列
	番号	W02011/016561

骨芽細胞活性化化合物の*in vivo/in vitro* スクリーニング

技術概要

発明概要

- ・破骨細胞を抑制する化合物ではなく、骨芽細胞を活性化する化合物のスクリーニングが可能となります。
- ・従来のプロモーター(I型コラーゲンプロモーター等)から更に、骨芽細胞への特異性が上がっています。
- ・トランスジェニック・マウスの作成に成功しました。



効果

- ・器官培養系による*in vivo* スクリーニングが可能。
- ・*in vitro* スクリーニング系の構築も可能。

応用分野

実用化例

- ・骨芽細胞活性化による骨粗鬆症治療薬の開発
- ・遺伝子治療、再生医療
- ・骨異常形成の抑制薬

企業へのメッセージ

共同スクリーニング及び共同開発を実施する企業を探しています。トランスジェニック・マウスの提供が可能です。非独占的な共同研究体制を希望します。